

活動内容（団体ボランティア）

団体ボランティアを中心として運行した「ボラパックⅡ」。1便から22便まで、参加いただいた計15団体の活動をご紹介します。持ち込んでいただいたプログラムは、多種であり、様々な方が参加できる機会をつくっていただきました。

当初は手編みしたものを物資として配布するのみの予定でしたが、「せっかくなら山田町の皆さんと顔を合わせて届けてほしい」という当センターからの提案を快く受けていただき、特別便の運行が決まりました。会場確保・告知など、現地での調整に苦戦しましたが、この経験が「ボラパックⅡ」の活動に活かされています。参加された町民さんから趣味の編み物を再開することができたという声や、編み物教室を始められた方など、現地でも嬉しい報告をいただきました。

NPO法人 ウィミィ

参加便：特別便（平成23年11月5日～8日）

人数：7名

活動内容：編み物教室、腹話術、大正琴演奏

2班に分かれ仮設団地談話室・公共施設にて2ヶ所同時開催し、計4ヶ所の編み物教室を実施。

編み物は、お子さまでも楽しめるペットボトル編みから上級者向けの高度な物まで様々な種類で対応。その他、腹話術や大正琴の伴奏による唱歌の合唱などの催しも加え、温かい空間づくりをされました。活動後も、季節に合わせマフラーなどの物資、また毛糸や編み棒などの資材の寄贈による支援も続けられています。



ボラバスに参加して、NPO法人ウィミィ「あつたまる・編み物を送ろう」も2年目。たくさんの協力があり（女性約100名（殆ど60代～））この活動を始めてから皆が元気を貰った。ある80代女性は電話で「何かお役に立ちたいと思っていた」と編んだものをいっぱい届けてくれた。本当に嬉しかった。災害も明日は我が身。私達は「助け合い」の気持ちでこれからも応援して行きたい。そして山田町の方がたも元気になって欲しいです。

代表 出口 いつ子さん

桑名の千羽鶴を広める会

参加便：第1便（4月13日～16日）

第3便（5月11日～14日）

第5便（6月8日～11日）

人数：8名、5名、4名

活動内容：連鶴教室

「ボラパックⅡ」開始の4月から、5月、6月と毎月続けて参加いただき、団体としては最多の3便乗車。仮設団地談話室・集会所、公共施設などで折り鶴教室を開催。

たくさん繋がった鶴は、とても珍しく、現地の方の興味を一目で惹きつけました。現地でも「桑名の連鶴」として、よく知られるようになり、サロンで連鶴の技術を覚えて、現在も趣味として続けている参加者も大勢います。連なった鶴のように寄り添い、息長く想いが繋がっています。



代表
高木 文子さん



「今後はいつ来るの？」その言葉が心に残った最初の訪問。繋がっている鶴を手にしてトツテモ嬉しそうなお顔を見ながら「また来ますね、必ず来ますからね」と帰ってきました。「時間の許す限り何度でも」との決意も山田町の土を踏むのが4度目で途切れています。それでも「必ず会いに行きたい」と自分自身に誓っています。隣の親類のお家でお世話になっていらっしゃる方が「皆に良くしてもらって本当に有難い。でもやっぱり自分の家に帰りたい！」と。1日も早くこの思いが叶う日を祈っています。

山田町から



青山 則子さん

三重県から来てくださった気持ち、「人ってつながっているんだ」という気持ちがありがたかった。ひとこと、ふたこと言葉を交わしただけで、あたたかい心が伝わってきたことは忘れません。

活動内容（団体ボランティア）

こころネット

参加便： 第2便（4月27日～30日）
第10便（8月2日～5日）

人数： 9名、13名

活動内容： 大人も子どももわくわく広場（工作など）、音楽会、
山田さまあちゃれんじ（木工教室・テントペイント）



仮設団地談話室・集会所、公共施設などで工作などを中心にお子さまから大人の方までが楽しめるサロン活動を実施。福祉施設では、音楽会を通して利用者の方々との交流を行いました。

第10便では、山田町社会福祉協議会主催の『山田さまあちゃれんじ』に講師として依頼を受け、小中高生を対象に、マガジラックと椅子の木工教室、真っ白なテントへのペイントを行う美術教室を行い、子ども達と一緒に夏の思い出を描きました。

代表
杉本 熊野さん



被災地を何度か訪れる中で、子どもたちや女性へのきめ細かい支援が必要であることを実感し、「face to face」「被災者と支援者をつなぐ」を基本に支援活動を開始しました。口コミで支援者はどんどん増え、ネットワークが広がっていきました。仲間の思いをつないでいきたいと願い、2012年3月11日「こころネット」を立ち上げ、第2便と第10便に参加しました。これからも「みんなで出来ることを出来るだけ」やっていきます。

山田町から



はまなす学園施設長
芳賀 幸一さん

マラカスの手作りに始まった「音楽会」。電子ピアノとギターを生演奏、心のこもった歌声にびっくりし、感激しました。狭い仮設生活が続き、限られた行動しか出来なかった分、利用者様も声を出し積極的に参加できました。利用者様もこのひと時を忘れる事がないと思っております。大変ありがとうございました。

ぐるんぱ（小春日和）

参加便： 第2便（4月27日～30日）
第9便（7月27日～30日）

人数： 3名

活動内容： 大人の絵本・ギターカフェ、折り紙



仮設団地談話室・集会所で、大人の方に向けた絵本の読み聞かせを中心に、ギター演奏に合わせた歌唱や、折り紙教室などの活動を実施。

絵本の魅力に大人も子供も引き込まれ、絵本を通じた交流により住民同士の新たな一面を発見する機会にもなりました。また、ギター演奏に癒され、懐かしい童謡・唱歌を口ずさみ、温かい空間づくりとなりました。折り紙は、教えたり教えられたりしながら、ボランティアも参加された方もお互いに笑顔の耐えない思い出に残る時間となりました。

山田町から



織笠第二仮設団地 昆 喜一さん

その節は大変お世話になりました。皆さんが来てくれたおかげで、毎日をととても楽しんでます。折り紙も続けています。ありがとうございます。また会いたいです。

毎月一回、私が主催する絵本カフェが始まる前に、みんなでメッセージを書いた鶴を折り、千羽になったらどこかの団体に届けてもらおうと考えていました。何年かかっても、忘れないことが大事だという想いで。家では息子達も一緒に折ってくれていた中、ある日次男が「東北へボランティアに行きたい」と言い出しました。彼自身、悩んでいる時期でもあったので、息子の「行きたい」という一言が私の背中を押してくれ、親子で参加し、願いを込めた千羽鶴を手渡しすることができました。



西浜 良子さん
拓馬くん

自分ではボランティアをしっかりとできたというより、もう少しやればよかったという悔しさがあつたけれど、山田町の方々はすごく喜んでくださって嬉しかったです。山田町の方々は、笑顔で優しい方ばかりでした。一緒に参加した方々も、いい方ばかりで僕はすごく楽しかったです。僕にとっては、とてもいい経験になりました。